

令和4年度全国学力・学習状況調査及び佐賀県学習状況調査の結果の公表にあたって

武雄市教育委員会

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページで公表してきました。

今年度も保護者・地域住民の皆様には学校の現状と取組、武雄市の取組が分かっているように公表を行います。

学校教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け、指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組めます。

保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、武雄市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思えます。

児童、生徒の学力の向上には学校と家庭や地域との連携が必要です。今回、学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は、小学6年生、中学3年生は全国学力・学習状況調査、その他は佐賀県学力学習状況調査の結果です。

全国学力・学習状況調査は、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う問題の調査となっています。

1 生徒の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

R2 入学 現3年生	国語			数学			理科		
	1年時	2年時	3年時	1年時	2年時	3年時	1年時	2年時	3年時
	県 (12月)	県 (12月)	全国 (4月)	県 (12月)	県 (12月)	全国 (4月)	県 (12月)	県 (12月)	全国 (4月)
	59.7	61.0	62.0	50.6	49.2	42.0	42.1	47.3	42.0
	(0.96)	(0.92)	(0.91)	(1.01)	(0.95)	(0.89)	(0.9)	(0.87)	(0.88)
R4 正答率の全国比			0.89		0.81		0.85		

◎1・2年時は佐賀県学習状況調査、3年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段( )は県平均を1としての比較。

◎「令和4年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

<p>【 国語 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短答や記述の無回答率が高い。</li> <li>・ 根拠を明確にして書くことや内容を解釈するなど文章を正確に読み取り表現する問題に対する正答率が低い。</li> <li>・ 問題と問題文を正確に読み取る力と自分の考えを表現する力に課題がある。</li> </ul> <p>【 数学 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「素因数分解（中1で学習）」の習得が不完全である。</li> <li>・ 表、式、グラフを関連づけてみたり、考えたりすることができない。</li> <li>・ 下位生徒の層が多い。</li> <li>・ 連立方程式を解くなど、文字式や方程式の計算などは、県や全国との差はなくなってきている。</li> </ul> <p>【 理科 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題文の中から必要な情報や条件を正確に拾えていない。（特に化学・物理・地学）</li> <li>・ 必要な条件や方法を説明することが苦手な生徒が多い。</li> <li>・ 探求の過程における検討や改善を問う問題の弱さで考えの妥当性や、計画が適切か検討して改善することに課題が見られる。</li> </ul>
---

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

<p>【 国語 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件作文を設定し、条件に合わせて書く練習をする。</li> <li>・ テストや課題を用いて文章のどの部分と問題文が対応しているかを考えさせる機会を設定する。</li> <li>・ 学習したことを理解し活用できるかを自分で振り返られる終末問題に取り組みさせる。</li> </ul>
--

### 【 数学 】

- ・ 中1の学習内容の学び直しが必要。授業の中で関連のある内容を取り上げて、丁寧に扱うようにする。
- ・ 式→表→グラフの流れだけでなく、表→式→グラフ、グラフ→式→表など様々なパターンで繰り返し指導したり、そのような見方が必要な教材を扱ったりする。
- ・ 基礎基本や本質・理由を大切に日々の授業を行う。

### 【 理科 】

- ・ 実験計画→実験→考察→再検討をさせるような授業づくり
- ・ キーワードをつかって考察させる。
- ・ 問題の読み取り力の指導

### (2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

- ・ 朝の会や帰りの会、学活などの時間で、自分の考えを表現する機会を設定する。(1分間スピーチ)
- ・ 学活などの時間で、指定のテーマ(例えば絵画など)について対話する機会を設定する。
- ・ 下位の生徒でも取り組めるような基本的な内容で、例題や書き方など示した宿題をこまめに出す。